

お客様の声

1日、10頭程度の残渣を処理していますが、使用する灯油は平均2~3ℓなので、経済的に助かります。

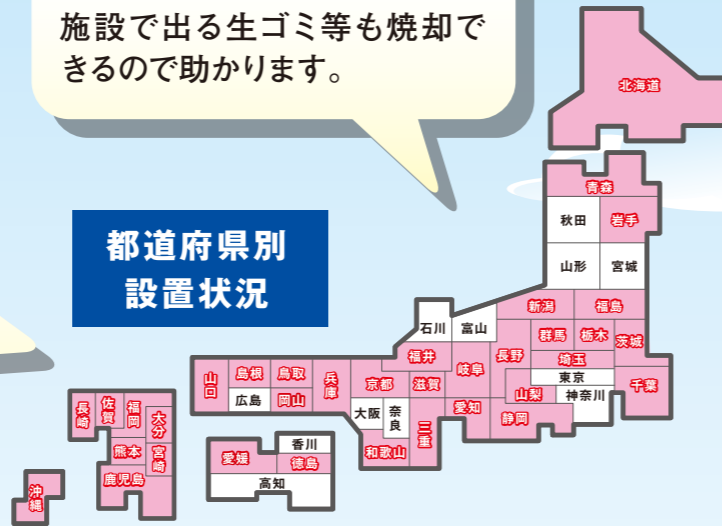
今までは攪拌機でたい肥化していましたが、骨が残り臭いも出るので困っていましたが焼却炉を導入し問題が解消されたのでよかったです。

ジビエの残渣処理に使っていて産廃費用が掛からなくなりました

残渣を焼却するついでに加工施設で出る生ゴミ等も焼却できるので助かります。

それまで行っていた産廃処理から、施設内での焼却処理に変更したので残渣の冷凍保管が不要になり、それにとまなう電気代などの経費がいらなくなりました。

都道府県別 設置状況



ジビエバーニング

国内最高水準環境負荷軽減の
小型焼却炉



設置例



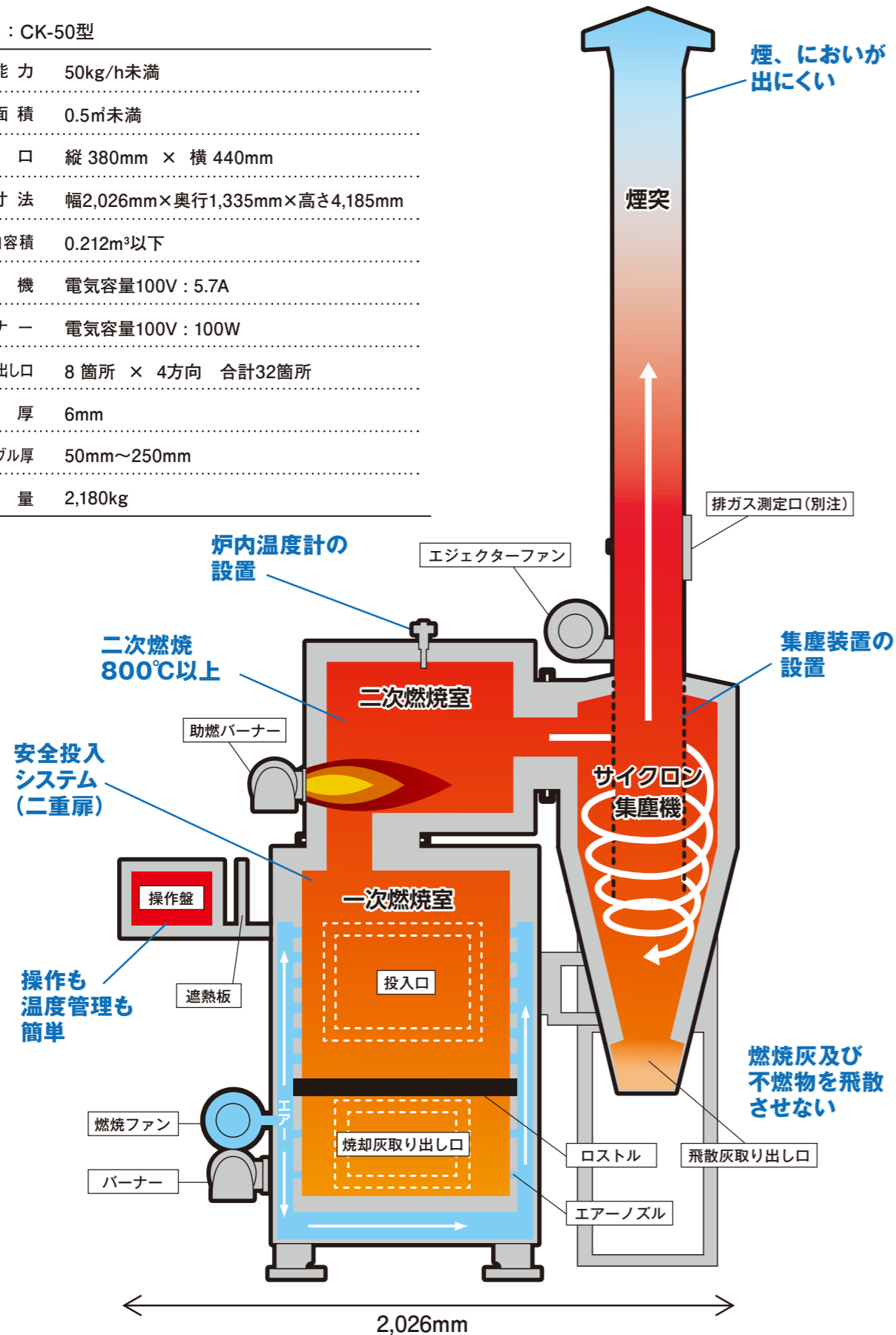
[販売元]



〒733-0832 広島県広島市西区草津港 2-7-1
TEL 082-277-3020 FAX 082-277-6618

防疫面でも、衛生面でも焼却処分がベスト！

機種名	CK-50型
処理能力	50kg/h未満
火床面積	0.5㎡未満
投入口	縦380mm × 横440mm
本体寸法	幅2,026mm×奥行1,335mm×高さ4,185mm
焼却炉内容積	0.212m³以下
送風機	電気容量100V : 5.7A
バーナー	電気容量100V : 100W
空気吹き出し口	8箇所 × 4方向 合計32箇所
鉄板厚	6mm
キャスト厚	50mm~250mm
重量	2,180kg



強化された焼却炉の基準を完全にクリアした小型焼却炉です。

環境省「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規定^{*1}」の一部が強化され、この構造基準に合致しない焼却炉は使用できなくなりました。廃棄物を焼却する全ての焼却施設に適用されます。

適合しない廃棄物処理を行った場合は罰則^{*2}があります。廃棄物の野焼き、廃棄物を捨てる、土に埋めるなどを行った場合、**懲役5年以下**もしくは**1,000万円以下の罰金**

またはその併科に処せられます。

^{*1} 平成14年12月1日施行 ^{*2} 廃棄物処理法第16条の2

廃棄物の処理及び清掃に関する構造基準の概要

- 1 空気の入力口及び煙突の先端以外に焼却炉設備内と外気が接することなく、燃焼室にて発生するガスの温度が摂氏800℃以上の状態で廃棄物を燃焼できるもの。
- 2 焼却に必要な量の空気の通風が行われるもの。(送風装置)
- 3 外気と遮断された状態で、定量ずつ廃棄物を燃焼室に投入することができるもの。(二重扉の設置)
- 4 燃焼ガスの温度を測定するための装置を設置してあるもの。(温度測定器の設置)
- 5 燃焼ガスの温度を保つために必要な助燃装置が設置してあるもの。(二次補助バーナー)

ジビエ専用小型焼却炉 6つの特徴

1. 国内最高水準の環境負荷軽減焼却炉

国内最高水準の環境負荷軽減焼却炉の為、行政への設置届けが不要です。焼却能力50kg/h未満、焼却炉火床面積0.5㎡未満に抑えたコンパクト設計により、届出・設置許可が不要です。^{*}一部の県では、届出が必要になります。

2. 焼却炉構造基準適用済み

800℃の焼却温度、送風装置、二重扉の設置、温度測定器の設置、助燃バーナーの設置、炉内の外気との遮断、黒煙が出ない、及び集塵装置方式を取り入れた自然に優しい設計です。廃棄物の構造基準は自己の農場内でも規模に関わらず全ての焼却炉に適用されます。(平成14年12月1日改正施行環境対132・環境産204)

3. ダイオキシン及び煤塵測定済み

令和7年12月4日に測定を委託しましたが、国の基準を全てにわたり基準値以下でした。(第三者機関の証明書を出す事ができます。)(平成22年3月 規則及び方法告示の一部改正)

4. 自己完結型

残渣を自己加工施設内で処分が可能となり、事業者はその事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理する事が産業廃棄物法の基本です。廃出事業者としての責任が果たされます。(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第3条第1項)

5. 薪を併用できる

年間数十万円もかかるダイオキシンの測定ですが、行政への届出が不要なために測定費用も一切かかりません。燃料代(灯油)は薪と併用するため、灯油代は1ヵ月あたり4,000円~5,000円程度と大幅に削減できます。^{*}使用時間により異なります。

6. 処理時間の短縮

微生物を利用したりすることがなく、燃焼方式なので処理時間が短く追加投入が容易に行え焼却灰も多くありません。